

愛は南から

愛南町の持つ魅力をご紹介していきたいと思ひます。
皆様からの掲載依頼など、気軽に情報をお寄せください。



愛南かきの写真は、防城成川でかき養殖に取組まれている梶山五郎さん（愛南漁業協同組合かき部会会長）の奥さんの静子さん、ハートオニオンは、田原真紀さんに撮影協力をいただきました。

これから旬を迎える愛南かき、ハートオニオン。どちらの特産品も、本町を代表する冬の特産品ですが「かき」は焼き物・鍋・揚げ物と、今から季節、食卓には欠かせない一品です。「ハートオニオン」は辛みが少なく、煮物や炒め物に最高で、血液をサラサラにする作用のある健康野菜です。是非、ご賞味ください。

12月中旬に収録されたNHK教育テレビ「知るを楽しむ」（1/9・16・23・30、毎週水曜日のPM10:00～50に放送）の中で、本町ゆかりの作家、宮本輝さんの幼少期（3歳から5歳まで旧城辺町に在住）をモデルにした作品「流転の海シリーズ」が紹介されます。第1回の放送（1/9）は「押入れの中の青春」です。

編集後記

皆さんも「年をとると、時が経つのを早く感じる」という話を聞くことがあると思いますが、その答えはと聞かれると、言葉に詰まった経験はないですか？

先般、広報編集委員の特集「守り伝えるもの」の取材で伺った諏訪神社の石村宮司さんの答えをご紹介します。石村宮司さんは「生きる期間を100とすると、60歳なら60等分する。10歳なら10等分する。だから、年齢が多い方が一つの期間が短くなるので、60歳の方が10歳より人生を短く感じる」という話をされました。私は、すっかり納得してしまいましたが、皆さんはどう思われますか。

さて、新年は、戊子つちのえねです。「つちのえ」は、茂るという意味で、植物が勢いよく茂る意味があり、絶頂期を意味します。「ね」は十二支の始めて、新しい物の始まり、生命の始まりを意味しています。何事も、新しい事に挑戦するには適した年といえると思ひます。そこで、平成20年のキーワードは、浮かれ過ぎず、気を引き締めて事に望むためにも「初心忘るべからず」でいきたいと思ひます。

最後に、平成20年が良き年であることを心から願ひ、皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

愛南町の人口

（平成19年12月1日現在）

世帯数	11,118 戸
人口	26,802 人
男	12,520 人
女	14,282 人

■編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲2420番地
TEL(0895)72-1211 FAX(0895)72-1214 HP <http://www.town.ainan.ehime.jp/>

■印刷

明星印刷工業株式会社